

す。それを言うんなら放送法全体ということはこの1条3項から明らかです。放送法全体に係ることが経営委員の職責なのです。

梶井会長を罷免すべき理由

<① 国際放送への無知> 65条は「総務大臣はNHKに対して国際衛星放送を行うことを要請することができる」とある。「NHKは要請があった場合これに応じるよう努力しなければならない。」とあり、努力目標であり、義務ではない。「政府が右といったことをNHKが左といってもおかしくはない」。梶井会長はこの点が全く理解できていない。

<② 靖国問題> 「首相が行ったからとやかく言うことではない」というが、靖国神社は「アジアの平和のために戦った」とパンフに書いている。被害を受けた国はどう思うか。靖国神社は政教分離に反している。仙台・福岡・大阪で違憲判決が出されている。批判できなければ「独立した放送」は成り立たない。

<③ 従軍慰安婦問題> 「どこの国にもあった」というが、他でもあったら許されるのか。放送法第

1条の「公共の福祉」とは人権と人権がぶつかり合う時に最大多数の最大幸福を原理として調節する論理。これが公共の福祉の意味だ。人権を蹂躪された人が外国人だからといって、これほど人権に無頓着になれるのは、「公共の福祉」の視点から資質



決議提案の朴 明子さん

が根本的に欠けているのではないか。

<④ 受信契約について> 解約の申し出に「受信機をおいているから契約解除できない」というが、責任不感症」の答弁。「NHKは受信料を徴収する権利はあるが義務はない」と言うが、双務契約だ。

安倍首相の「NHKお友達人事」

皆さんご存じのように、昨年11月の経営委員人事は安倍首相のお友達の親近者4人が送り込まれました。

百田経営委員を罷免すべき理由

百田氏は「平和は軍事力でしか維持できない」という考えだ。河野談話は見直さないことに対して政府は「韓国に対して最大限の誠意だ」と言っている。このことにメディアも問いかかけをしない。これでいいのか。私はそれが怖い。

ツイッターでの書き込みは、経営委員の服務に関する準則5条に反し、NHKの品位を汚している。

長谷川経営委員を罷免すべき理由

「放送が健全な民主主義の発達に資するよう」ということが職責となっている経営委員の方が「民主主義は難病だ」と捉える人物が選ばれてしまうことが問題だ。

哲学の研究者だから批判するのはいけないかなど遠慮は要らない。経営委員から縁遠い人です。

経営委員の言論の自由をどう考えるか

「個人的見解・職務外・言論の自由」と言われるが、職責の自覚がない。経営委員を公言したうえでの、民主主義に反した主義主張が、職務内外にもおよび、NHK放送内容にも影響する疑念を人々に抱かせる。経営委員は、個人の資質を基準に選考するもの。このような人が選ばれるのはおかしい。

会長選考システムの構造的問題

財界人がNHK会長になることの弊害

ここ3代、財界人が会長に選ばれている。BBCではジャーナリスト以外の財界人が選ばれることはない。日本では大いにあり得ている。

そもそも財界人とNHKの会長の資質とは相いれないものがある。

<財界人の資質は何で評価されるか>

利益を最大化するためにトップダウン型で組織を束ねる力量で資質が評価される。NHKは多様な意見を出会いの場を作って視聴者に伝えることが公共放送の使命。

<NHKの要件は>「政治的に公平・公正」を要件とするNHKとは相いれない利益相反が免れない。法人税減税・消費税増税・原発再稼働問題などは、経済界全体の共通した利害。そういう人たちがどういう形であれNHKのトップに着くということは放送の制作現場に影響が絶対にないということとはありえない。

<選ぶ側の問題——経営委員選出のしくみ>

経営委員は国会の同意人事で任命される。

国会に候補者を提出するのは内閣総理大臣。国会の同意人事による経営委員選出のしくみを改めないといけない。



会場満席のあすてつぷK O B E

その理由① 多数決原理はなじまない。 国会は国民の代表といっても、議院内閣制のフィルターを通れば、政権与党の意志になる。しかし多様な意見が反映されるべきNHKを監督する経営委員には多様な意見が望ましいのであって、多数決原理はなじまない。

② 政権はメディアによって監視されなければならない 監視されるべき政権が、自分たちを監視するNHK役員を選ぶというのは絶対的な自己矛盾です。

会長・経営委員の選考制度の改革案 (私案)

<会長選考について> 端的に問題と思うのは、会長候補を1人にしぼる推薦権は経営委員しかないこと。これは放送法の改定しかないが、最終1人に絞る手前の候補者をどうするか。そこに公選制、推薦制を入れたらどうかと考えている。放送法には、推薦する

権利が経営委員に限るとは書いていない。今の法律のもとでも可能だ。当座、メディアに関連する団体からの推薦を可能にする。その中から経営委員会で決める。

<経営委員の選考> 国会の同意人事は廃止する。関連団体からの推薦や視聴者代表も入れ、定数を割り振る。このような改革案には試行錯誤は必要になってくると思う。

<会議の公開> 会議をメディアに公開し傍聴取材を可能にする。インターネット中継、録画配信も採用。

罷免運動を成し遂げ、制度改革運動へ

市民の力でおかした3人を早く辞めさせ、その後7月頃から1年くらいかけて「会長の選考制度」を抜本的に改革する100万署名運動を起こしたい。本格的にNHKに圧力をかけて市民の声が実現する運動にしたいと思っています。

3/15「緊急集会 NHKの危機、どうする」感想文

大変タイムリーな企画。小林・門奈・醍醐先生のご意見は傾聴に値する内容で同感。特に経営委員および会長選考のあり方は改革を要する。

わかりやすく良かった。
NHKへ不払いしたくなる番組増えたがよい番組もある支払はして文句を言いたい。必要ない番組、やらないほうがよい番組増えている。

このような会になぜ若い人が集まらないのか？

深いお話をお聞きできた参加してよかったです。視聴料不払いの方法=停止であって現会長と2委員がやめたら払うというやり方がわかりとてもよかったです。多くの一人一人の力で何とかやめさせたい思いが強まりました。

内容の濃い話、意見、提案を聴き榎井、百田、長谷川氏3人やめさせる必要があること痛感しました

時の権力が公共放送を支配しようとしていることがNHK問題の本質であることがよくわかった。

門奈さん自身言われていましたが、レジュメで基本的なことはレポートしてほしかった。

小林さんのお話がとてもよかったです。このような方が経営委員だったことにホッとした気持ちが持てました。

NHK 会長は財界からつくことは根本的に相いれない面があるとの意見に賛成です。

インターネットで、原発問題などの講演会を調べたら市民フォーラムを知りました。

この日本で起こっている戦時が分かりやすくNHKの問題で前に出てきたと思います。本当に日本は危機的状況ですが、危機感がなさ過ぎて(多数派)この日本はどこへ行くのかと不安で仕方ありません。ここに来られている方々は関心があり来られていますが、もっと若い人たちが考えるべき問題ではないかと思えます。

この独裁国家を何とかできないかと本当に思っています。少数派が多数派には勝てません。この生きにくい世の中に生まれてきたことを悲しく思いました。NHKはなくなればよいと思えます。

3/15「緊急集会 NHKの危機、どうする」感想文

日々俗悪さの増す今日の日本の状況を黙視できなくて参加しました。低血圧と赤血球欠乏症の身体をおして、頑張らなければと思います。

生きていることは抵抗のよりどころです。参加者、高齢者が多いようですが若い人々にも広げたいですね。

小林緑さんのお話が一番興味がありました。みなさまが日本の民主主義をまじめに考えられている雰囲気がよく伝わって、力が得られたようで来てよかったです。

どれも視点が合い良かった。

NHKとBBC放送の考え方の違いがよくわかった。NHKは30数年前に自民党への1億円の政治献金問題から常にNHKの動向を見てました。これまで何度も問題を起こしても治らない組織だと思っています。

会長と経営委員を選ぶ仕組みを変えなければいけないなと思いました。放送法はNHKの責任で受信できるようにするとありますが、NHKの電波が届かなくても受信料を払わなければならないのか？

よく整理されて大変良かった。私たちが運動しなければ何も解決しないとわかりました。不払い運動もやります。

靄井会長、百田、長谷川経営委員のうち一人でも罷免できないのであれば【NHK問題を考える会】の意味がない。今日若い方が少ないのは残念です。

最初のDVD放送はいらなかった。ここに来られている方々はこれを知ってきているので時間がもったいなかった。

経営委員経験者である小林緑さんの話で集会テーマに沿った“NHK問題”の経営委員会の様子がよくわかりました。委員の報酬とか会議の設定など内部的なことがよくわかりました。NHKの経営員会を可視化して一般に公開するという小林さんの提案は検討する課題ではないかと思いました。

醍醐さんの話により。百田、長谷川氏の経営委員不適、靄井会長罷免すべき理由がよくわかりました。また、靖国参拝の問題の件、仙台、福岡ほかで違憲判決が出ていることも初めて知りました。醍醐さんの話は詳しいし、レジュメもあり、話が非常に具体的でよく問題点が理解できました。

今回ほどよく理解できた話はなかった。醍醐先生のみ講演も行きたいと思います。

経営委員、委員長の選考方法を根本的に改める必要があると思う。最近のNHK番組は特に政権に気を使っている様子がよくわかる。娯楽番組ばかり増えているし、ニュースの解説も掘り下げていないと思う。

百田、長谷川委員、靄井委員長が辞任するまでは受信料支払いを拒否したい。

BBCとNHKのちがいがわかって参考になった。NHKの予算編成についての承認を国会に求めることになっているが、それも与党の支配を助けることになるのではないのでしょうか。

よく勉強できました。とくにBBCの特徴がわかりました。品位、資格に靄井、百田、長谷川たちが欠けるのがよくわかりました。

経営委員会の中身がよくわかり良かった。抗議の声を集中して。3人をやめさせよう。私も頑張ります。

靄井会長を辞めさせないといけません。よくわかりました。

講師の3人ともとてもわかりやすい話で問題の核心がよくわかりました。時間不足が惜しかったです。お話を聴いた私たちが何らかの活動を起こさねばと思っています。

NHKには以前より疑問等持っていましたので3人の先生方のお話にとっても共感を持ちました。不払いについても明確に言っていただき疑問が解けました。

小林先生から経営委員会内部の話が聴けてとてもよかったです。勇気ある発言に心から敬意を表します。ありがとうございました。

BBCとNHKのちがいについて聞いているとあまりに大きな『ちがい』を感じた。視聴者、政府の民主主義(?)に関する認識の差が大きい。(かけ離れている)日本では特に視聴者(一部を除き)のステークホルダーとしての意識が低い。悪い政府、NHK、視聴者のスパイラルの打開が急務。市民運動も反省すべきであり、効果的な働きが必要。

醍醐先生の制度改革は大事。まず3名の「罷免」の実現が急務。署名拡大に力を入れる。NHKへの意見提出頑張らしましょう。

靄井会長らを辞退させるために多くの市民の力を結集してパンチを与えよう！

受信料の凍結運動を今日から積極的に行っていきたい。

3/15「緊急集会 NHKの危機、どうする」感想文

CATV (ケーブルテレビ) 通じて受信料払っていますので、これをどうするか考えてみたいと思います。

ともかく3人を取りあえずやめさせる工夫を考えましょう。周りの人にも呼びかけます。

NHKの良心的な番組(NスペやETV特集、BSドキュメンタリー等)をもっと良いものにするためにも大事な運動だと思います。NHKができれば民放はもっとこけます。そうなれば日本のメディアは総崩れ、何とかしないとイケません。

大変内容の濃い集いでした。

小林先生の話はNHK経営委員会の実態がリアルに語られ、大変興味深く参考になりました。また経営委員の選出方法の検討、せめて半数は公選にというご提案、経営委員会の公開などの提案もぜひ実現してほしいと思いました。

門奈先生のNHKとBBCの制度はよく似た面があるが民度(民主主義の徹底の度合い、内部的自由の確立、BBC会長はこれまですべてジャーナリスト出身者)の違いが大きいとの話はその通りだと納得しました。

醍醐先生の話はNHK会長、2人の経営委員の言動を具体的に紹介し、放送法や経営委員の服務規定に明らかに反し、罷免に値するという話もよくわかった。また、会長、経営委員の選考制度の改革提案も大変参考になり、具体的な運動になることを願っています。

・小林さんの講演は経営委員の経験をお話され、実態がよくわかってよかったですと同時に驚いた。

わかりやすかった

・門奈先生の講演はBBCがいかに政府と独立しているかがよくわかってよかったです。国からの補助があるのになぜ独立が保てるのか、ジャーナリスト出身者だからというだけではないものがイギリスにはあるように思えるが、そここのところも話してほしいです。

・醍醐さんの話は具体的な発言の問題点を整理されていてわかりやすかったです。できれば受信料問題も話してほしいです。

・今日の講演を聴いてNHKは本当に危ないと思います。抗議のFAXを送ろうと思います。



主催者から報告の野上さん

3講師様、ありがとうございました。

私は難聴者ですが、今日のお話はお三方とも大きな声でマイクに向かっていただきましたので助かりました。お疲れになられたことと思います。

日頃私たちの地域でもNHK問題は話題になり経営委員が選ばれた時から首相よりばかり(4名)に驚きと将来の不安を語り合っておりましたところ、菅井会長、長谷川氏、百田氏等の問題発言が表面化しました。

門奈先生の英国のBBC放送の内容を事実とすれば大変恥ずかしい日本国であり、その国民であることを恥じ入ります。

NHKの受信料を払い込みストップしようかと思えます。このまま放っておいたら右翼の喜ぶ国に傾斜してしまいます。

平和憲法を守り、近隣諸国との友好外交を進めていかねばなりません。

・いい市民のつどいだった。(今までの集会との差を感じた)

・お三方ともわかりやすく、お立場での経験に基づいた内容のある「証言」とも(具体的な)いえるお話で説得力があった。

・参加者は納得して行動に移れるのではないかと。

・最近NHK番組の下落を特に感じているが各人のお話の内容から理由も感じられた。人事異動、アナウンサーの採用時の傾向、命令など様々問題が起きているのでしょうか。

・百田氏は「海賊と呼ばれた男」の中で石油買い付けの著を現しているが、海賊は境界の無い、海の上は自由の航路、島の占有権はどうだったのか?気になるところ。

・てきぱきした司会の心配り、運営は会場にも影響し、まとまりのあるとてもいい雰囲気を生んだと思います。ありがとうございました。

3人の先生のお話、いずれも大変中身の濃い内容で非常に勉強になりました。ただ時間の都合でかなりスピードが速く残念なところもありましたが、資料があるのであとでゆっくり読み返したいと思いました。得難い講演と思いました。自分のものにして身近な人たちに広めていきたいと思いました。

主催者の計画、実行素晴らしいと思いました。ご苦労様でした。休憩後、どういう行動を起こすのかヒントを得ました。収穫でした。元気が出ました。

3・15集会の忘れ物

ピンク系のスカーフを忘れた方はご連絡を。(090-5054-7171 西川まで)



2月21日

政府（内閣府）に罷免の申し入れ

21日、1時半から「靱井・百田・長谷川氏の罷免を求める」6団体の代表13人は、内閣府大臣官房総務課調査役の佐野美博、事務官1人と面会し、安倍首相あての要望書を手渡しました。

申し入れの折衝は醍醐 聡さんがされ、「日本消費者連盟」からの辞任要求書も提出しました。

各団体から、罷免を求める理由を説明、15分の予



内閣府での申し入れ行動

定が30分になりました。兵庫の会から世話人3人が参加し、「NHKを戦前の大本営発表にはならない」と発言しました。「安倍総理に必ず届くのか」という質問に「官邸には要望書とメモを文書にして届ける」との答えでした。請願は分刻みで行われている様でした。



NHK14階にある記者クラブで記者会見(21日)

2月22日

放送を語る会 緊急集会「NHKの危機、今、何が必要か」 ～ 靱井会長発言が問いかけるもの ～ (東京)



リレートークのみなさん

リレートーク

小田桐 誠さん (ジャーナリスト)

醍醐 聡さん (東京大学名誉教授)

田島泰彦さん (上智大学教授)

松田 浩さん (メディア研究者)

池田恵理子さん

(アクティブ・ミュージアム

「女たちの戦争と平和資料館」館長)

元NHKディレクター

2月22日、緊急集会は会場は立ち見が出るほどの参加で熱気にあふれました。

1月25日の靱井会長発言が大問題となる中で、参加者から「すぐに罷免の運動を始めるべきだ」「署名では遅い。ネット署名も」、「毎日、NHKにFAX・電話で抗議しよう」という意見が相次ぎました。リレートークには5人のジャーナリストや研究者が参加し、公共放送の危機を語りました。兵庫の会から世話人2人が参加し、「兵庫でも緊急集会を3月15日に行い、この集会に連帯する」ことを発言しました。



会場から発言の立垣さん

3/24 7団体代表が第2次署名の提出と申し入れ—約2万筆



3月24日、榑井会長らの罷免を求める署名をNHKへ届けた代表

3月24日、署名の呼びかけ団体代表が、東京・渋谷の放送センターを訪れ、署名の第2次集約分をNHK経営委員会に提出しました。25日に定例の経営委員会が行われるのでこの日に申し入れをしたものです。集約された署名数は3月23日現在、累計で1万9212筆です。NHK側で対応したのは視聴者部副部長、経営委員会事務局の副部長でした。

1時間ほどの懇談で各団体から「榑井氏の居直りは戦前の国策放送に逆戻り、言論の自由の危機だ。1日も早い退陣を」「短期間でこれだけ多くの署名が集まったのは異例。視聴者の声にきちんと耳を傾けよ」、「ニュース番組では間違いがあれば直ちにお詫びと訂正をするが、会長は『発言を取り消す』だけでお詫びと訂正をやったか」などが出されました。

活動日誌(2014年2月~3月)

- 2月17日 関西4団体で「NHK会長問題・関西集会」について相談会(国労会館)
- 2月21日 内閣府に3人の辞任申入れ、NHK経営委員会事務局へ申し入れ行動
NHK記者クラブにて記者会見(東京4団体、関西3団体)世話人3人参加
- 2月22日 放送を語る会「緊急集会、NHK何が問題か」世話人2人参加(東京)
- 2月24日 NHK神戸放送局に、質問状の回答に対する意見書を書留にて送付
- 2月27日 榑井会長、百田・長谷川経営委員罷免要求署名始まる。ネット署名立ち上げ(7団体)
「受信料凍結運動について」意見交換会(視聴者コム、他4団体)
- 3月1日 ネット署名拡散・兵庫の会署名用紙作成
- 3月3日 世話人会議
- 3月4日 第1回「『どうする公共放送の危機』6.21関西集会」実行委員会
- 3月8日 3・8国際女性デー [3・15のチラシまき・署名活動]
マスコミ9条の会(大阪)シンポ「安倍改憲政権とマスコミの役割」1人参加
- 3月13日 臨時世話人会議(3.15集会の打ち合わせ)
- 3月15日 緊急集会「NHKの危機、どうする！」(講師 小林緑、門奈直樹、醍醐聰氏)
(あすてっぷKOBÉ) 200人
- 3月16日 3.15の感想文まとめ、発送
- 3月23日~30日 ニュース30号作成
- 3月25日 第2回「関西集会」実行委員会
- 3月27日 第3回「関西集会」実行委員会
- 3月31日 世話人会議(青少年センター)



あとがき

署名をお送りいただきありがとうございます。NHKの榑井・百田・長谷川氏らの「罷免を求める署名」は全国各地で広がっています。

3月15日の「緊急集会」に参加された方々から署名がつきつき届いています。署名簿に添えられたお手紙には、「第3便を送ります、署名して下さい、署名して下さった方々の熱い思いに心打たれます。NHKよ立ち直れ！現場の若い人たち、大勢が応援しているぞ、がんばれ！ご苦労があると思います」が3人の罷免までがんばりましょう！というメッセージが付いたり、「近況をお知らせします。署名179筆東京に送りました。滋賀は空白県なので『NHK問題を考える滋賀県準備会』を立ち上げて拡げてやっていこうと思います」など運動が広がっていることが実感されます。

3人が辞めるまで

署名を集約している東京の小滝さんへのお手紙には「札幌で3月12日『NHK榑井会長は辞任せよ！市民抗議集会』が開かれ、椅子も資料も足りなくなるほどの熱気にあふれていた」とのことです。緊急な提案からわずか1ヶ月で2万筆近くの署名が集まるのはこれまでにないことです。私たちは3人が辞めるまで署名運動を続けることを申し合わせています。引き続き、ご協力ください。

また、罷免運動の高まりをつくるうえで6月21日、大阪中之島中央公会堂で行われる「『どうする！公共放送の危機』6・21関西集会」が大事です。ぜひ、関西全域からご参加ください。千人の会場をいっぱいにしましょう。(西)